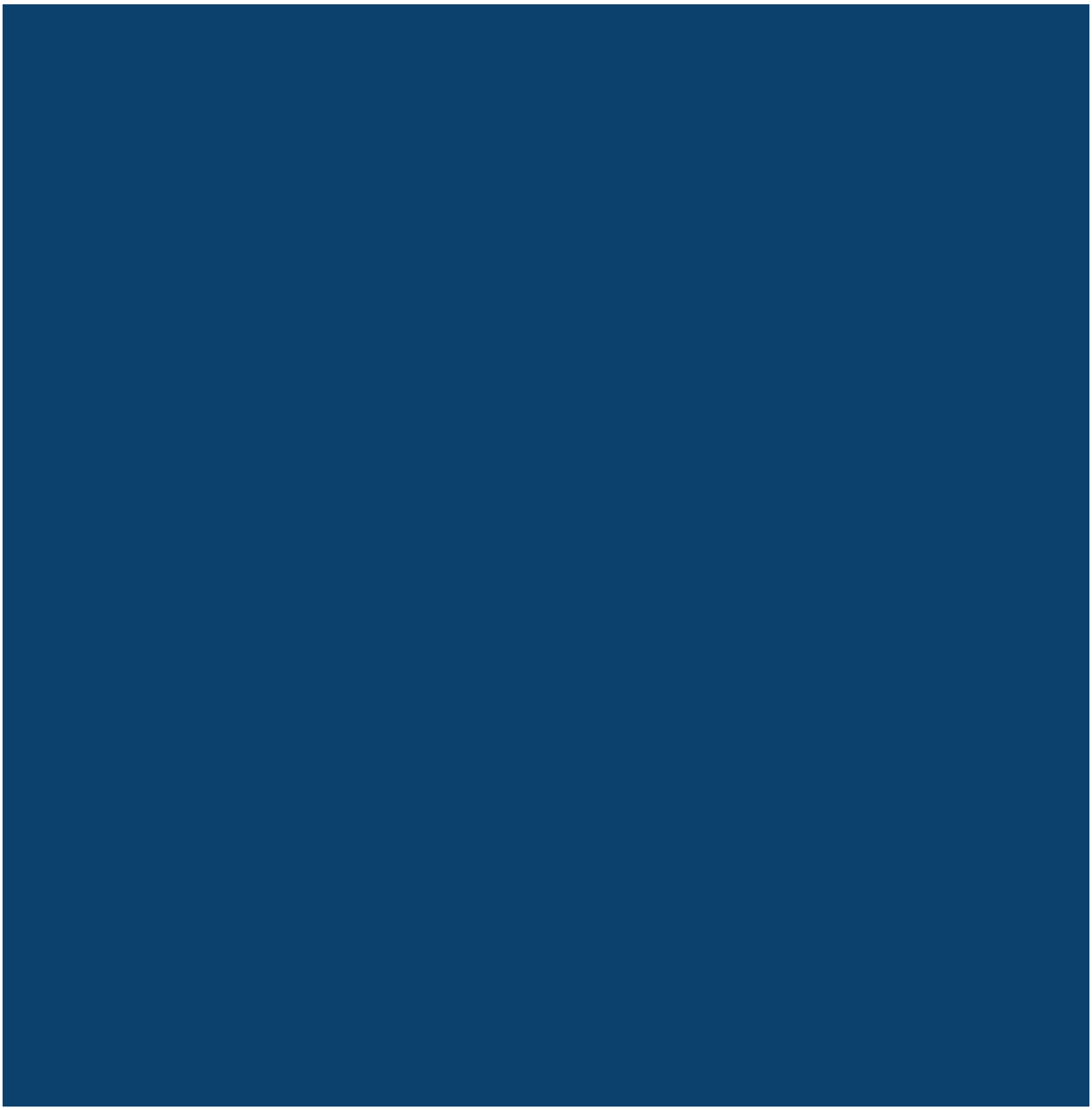
2026 年 11 月 09 日版

ATEN ジャパン株式会社　技術本部　製品戦略課

AIVoice VidText（IS4912）セットアップガイド

Azure の準備から字幕の表示まで



目次

本書について（必ずお読みください） 4

0.1 対象読者 4
0.2 本書の範囲と関連文書 4
0.3 記号の見かた 5
0.4 動作保証とサポートの前提 6
0.5 免責事項 6

1. 故障したときは（保証と連絡先） 7

1.1 まず相談する先 7
1.2 標準保証（センドバック修理） 7
1.3 シリアル番号の確認方法 8
1.4 修理依頼の流れ 8
1.5 有償オプション（先出し保守、保証延長） 9
1.6 サポート対象外の範囲 9
1.7 問い合わせの前に準備する情報 10
1.8 連絡先一覧 10

2. 製品の概要とできること 11

2.1 本製品とは 11
2.2 システム構成と各機器の役割 12
2.3 本製品で使えない環境 13
2.4 用語集 14

3. 導入前の確認 15

3.1 同梱品の確認 15
3.2 別途用意するもの 16
3.3 設定用 PC の要件 17
3.4 ネットワーク要件 17
3.5 設置環境の注意 19
3.6 設定前に決めておく項目 20

4. Microsoft Azure の準備 21

4.1 Azure のアカウントを作成する 22
4.2 リソースプロバイダーを確認する 23
4.3 音声サービスを作成する 25
4.4 キーと場所/地域を控える 29

5. 機器の接続と電源投入 31

5.1 背面の端子 32

5.2 ケーブルを接続する 33
5.3 電源を入れる 33

6. 初回セットアップ 34

6.1 本製品の IP アドレスを調べる 34
6.2 ログインしてパスワードを変更する 36
6.3 IP アドレスを固定する（推奨） 37
6.4 Azure のキーと区域を設定する 38
6.5 字幕のレイアウトを作成する 40
6.6 翻訳する言語と文字の大きさを選ぶ 44
6.7 モバイル字幕を設定する 44
6.8 動作を確認する 46
6.9 セットアップ完了チェックリスト 47

7. 会議での使いかた 48

7.1 前面のボタン 48
7.2 会議を始める、終える 49
7.3 録音と字幕のファイル 49
7.4 Azure の利用料金を確認する 49
7.5 予算を設定して使いすぎを防ぐ 51

8. 困ったときは 52

8.1 症状から探す 52
8.2 よくある質問 52
8.3 問い合わせの前に 53

付録 A 設定記録シート 54

付録 B 改訂履歴 55

本書について（必ずお読みください）

この章では、本書の対象読者と扱う範囲、囲みの記号の意味を説明します。作業を始める前に一度読んでください。

0.1 対象読者

本書は、IS4912 AIVoice VidText（以下「本製品」）を設置し、会議で字幕を表示できる状態にするまでの手順を説明します。

次の方を読者として想定しています。

- 機器の設置やキッティングを担当する方
- Windows PC の基本操作ができ、PC の IP アドレスを変更できる方

サーバー構築やクラウドサービスの知識は前提としていません。セットアップに必要な知識は、各章の冒頭と補足で説明します。ただし、説明の都合で一部を省略しています。

0.2 本書の範囲と関連文書

本書は、初回のセットアップに必要な手順だけを扱います。

次の内容は、関連文書を参照してください。

知りたいこと	参照する文書	入手先
すべての設定項目、画面ごとの説明	IS4912 ユーザーマニュアル（PDF、英語）	弊社製品ページ
翻訳できる言語の一覧	IS4912 対応言語一覧（PDF、英語）	弊社製品ページ
Microsoft Azure の料金、契約、仕様	Microsoft の公式サイト	Microsoft
納品時に組み込まれた設定、運用ルール	構築した業者様の手順書	構築した業者様

構築した業者様の手順書がある場合は、そちらを優先してください。業者様の手順書は、納品時の設定に合わせて作られているためです。

© ATEN Japan Co., Ltd.

0.3 記号の見かた

本書では、次の 4 種類の囲みを使います。「警告」と「注意」は、必ず読んでから作業してください。

警告

守らないと、感電や発火、機器の損傷につながるおそれがあります。

注意

守らないと、設定が消えたり通信できなくなったりして、作業をやり直すことになります。

補足

作業を理解するための補足説明です。読み飛ばしても作業はできます。

ヒント

作業を楽にするコツや推奨設定です。

画面上のボタンやメニューの名前は「 」で囲んで示します。キーボードで入力する値は、網かけの枠で示します。

© ATEN Japan Co., Ltd.

0.4 動作保証とサポートの前提

本製品は、各インターフェースの規格に準拠して設計しています。ただし、接続するすべての機器との組み合わせで動作を保証するものではありません。

本番導入の前に、実際の機器構成で評価してください。評価のご相談は、弊社営業で受け付けています。

本製品の文字起こしと翻訳には、Microsoft のクラウドサービス「Microsoft Azure」を使います。Azure の画面や料金、仕様は Microsoft が決めるため、予告なく変わることがあります。

弊社の技術サポートは、最新版のファームウェアをご利用いただくことを前提に提供しています。

古いファームウェアでだけ起きる問題は、更新せずに使い続ける場合、設定方法や使い方の助言にとどまります。問題の解決は保証できません。

0.5 免責事項

本書に記載された内容、仕様は、改良のため予告なく変更することがあります。

製造元は、本書の内容について、明示、黙示を問わず、商品性および特定目的への適合性の保証を含め、いかなる保証も行いません。

本書に記載されたソフトウェアは、現状有姿（AS IS）で提供されます。法令により認められる範囲において、また別途定める保証規定による場合を除き、ソフトウェアの欠陥に起因する保守、修理の費用および付随的、派生的損害について、製造元、代理店および販売店は責任を負いかねます。

誤った電圧設定のまま使用したことによる損害について、製造元は責任を負いかねます。ご使用前に、必ず電圧設定をご確認ください。

© ATEN Japan Co., Ltd.

1. 故障したときは（保証と連絡先）

この章では、本製品が故障したときや動作がおかしいときの連絡先と、用意するものを説明します。設置の前に、連絡先と保証の条件を確認しておいてください。

1.1 まず相談する先

本製品は、構築した業者様が他社製品と組み合わせ、お客様専用のシステムとして納品している場合があります。この場合、システム全体の構成や保証契約の内容は、構築した業者様と保守会社様が把握しています。

故障が疑われるときや動作がおかしいときは、**まず購入元または保守契約先に相談してください。**

購入の仕方	最初に相談する先	弊社に直接連絡する場合
システムとして業者様から導入した	構築した業者様、または保守会社様	業者様から案内があった場合
保守契約を結んでいる	保守契約先	保守契約先から案内があった場合
本製品単体を購入した	購入した販売店	販売店で対応できない場合、弊社技術サポート

1.2 標準保証（センドバック修理）

本体ハードウェアの故障は、保証期間（3 年）内であれば、センドバック修理サービスをご利用いただけます。

センドバック修理とは、故障した機器を弊社修理センターへ送っていただき、修理または交換後にお返しする方式です。

- 弊社修理センターへの送料は、お客様のご負担です。返却時の送料は弊社が負担します。
- オンサイト（訪問）での修理や交換、引き取りサービスは行っていません。
- 代替機の貸し出しは行っていません。予備機の有無は、保守会社様に確認してください。

保証規定の詳細は、次のページを参照してください。

https://www.aten.com/jp/ja/supportcenter/product-warranty/product-warranty-regulations/

1.3 シリアル番号の確認方法

修理の受付には、製品のシリアル番号が必要です。シリアル番号から、保証期間内かどうかと、有償オプションの加入状況を確認します。

シリアル番号は、本体底面のシールに記載されています。

注意

次の場合は、保証期間内でも有償修理になります。

・養生用のシールで覆われてシリアル番号が読めない

・シールがはがれている、または汚れて読めない

・落雷や自然災害など、通常の使用以外の原因で故障した

設置時に、シリアル番号を台帳に控えておくことをおすすめします。

1.4 修理依頼の流れ

修理は、次の順番で進みます。**受付前に機器を送らないでください。**受付のない機器は、受け取りをお断りしています。

順番	すること	担当
1	シリアル番号と症状を用意し、技術サポートに連絡する	お客様
2	技術サポートが、設定や環境の確認を案内する	弊社
3	故障と判断した場合、修理受付番号を発行する	弊社
4	受付番号を添えて、指定の修理センターへ機器を送る	お客様
5	修理または交換した機器を返送する	弊社

技術サポートへの連絡は、電話または技術サポートサイト「eSupport」で受け付けています。

eSupport：https://eservice.aten.com/eServiceCx/Common/FAQ/list.do?lang=ja_JP

© ATEN Japan Co., Ltd.

1.5 有償オプション（先出し保守、保証延長）

修理を待たずに使い続けたい場合は、代替機を先にお送りする有償オプション「先出保守センドバックサービス」があります。

> **注意**
>
> このオプションは、**製品の購入から 90 日以内に限り契約できます。90 日を過ぎた後の契約と**、期間満了後の再契約はできません。

保証期間を最大 5 年まで延長する有償プランもあります。詳細は次のページを参照してください。

https://www.aten.com/jp/ja/supportcenter/product-warranty/product-warranty-options/

オプション品の初期不良

別売りのケーブルやアクセサリーは、修理対象外です。納品から 30 日以内にお申し出いただいた不具合に限り、初期不良として交換します。

1.6 サポート対象外の範囲

弊社技術サポートは、本製品の仕様と設定に関するご質問にお答えします。次の内容は、対象外です。

対象外の内容	相談先
Microsoft Azure の契約、請求、アカウントの管理	Microsoft
お客様の PC の IP アドレス設定、ネットワークの構築方法	ネットワーク構築を担当した業者様
他社製品の設定、他社製品との組み合わせの動作保証	各製品のメーカー、構築した業者様
業者様が構築したシステム全体の保守、障害対応	構築した業者様、保守会社様
オンサイトでの設置、交換、引き取り	構築した業者様、保守会社様

© ATEN Japan Co., Ltd.

1.7 問い合わせの前に準備する情報

技術サポートに連絡する前に、次の情報を用意してください。情報がそろっていると、確認が早く進みます。

- 製品の型番とシリアル番号
- ファームウェアのバージョン
- いつから、どの操作をしたときに、何が起きるか（画面の写真があるとより確実です）
- 最近変更した設定や、交換した機器
- 接続構成（簡単な図でかまいません）
- 購入元と、保守契約の有無

1.8 連絡先一覧

窓口	内容	連絡先	受付時間
技術サポート	設定、故障、修理受付	03-5615-5811 eSupport（Web）	午前 9 時～午後 6 時（土日祝、お盆、年末年始を除く）
営業	構成の相談、増設、見積	03-5615-5810 お問い合わせフォーム	午前 9 時～午後 6 時（土日祝、お盆、年末年始を除く）

eSupport：https://eservice.aten.com/eServiceCx/Common/FAQ/list.do?lang=ja_JP

お問い合わせフォーム：https://atenjapan.satori.site/contactus

2. 製品の概要とできること

この章では、本製品が何をする機器か、どの機器を組み合わせて使うかを説明します。全体の構成を理解してから、第 3 章以降の作業に進んでください。

2.1 本製品とは

本製品は、会議やセミナーで話された言葉を文字にし、翻訳した字幕を映像と一緒にディスプレイへ表示する機器です。

音声の文字起こしと翻訳は、本製品ではなく Microsoft Azure の音声サービスが行います。そのため、本製品をインターネットに接続し、Azure の契約を用意する必要があります。

本製品を導入すると、次のことができます。

- 話された言葉をその場で文字にし、最大 20 言語から 3 つを選んで翻訳し、表示できる
- 原語と翻訳の字幕を最大 4 言語（原語 1 + 翻訳 3）まで、映像に重ねたり並べたりしてディスプレイに表示できる
- 参加者が QR コードを読み取り、手元のスマートフォンで字幕を見られる
- 会議の音声と字幕を、USB-C 接続の外付けストレージに保存できる

2.2 システム構成と各機器の役割

本製品は、次の機器を組み合わせて使います。

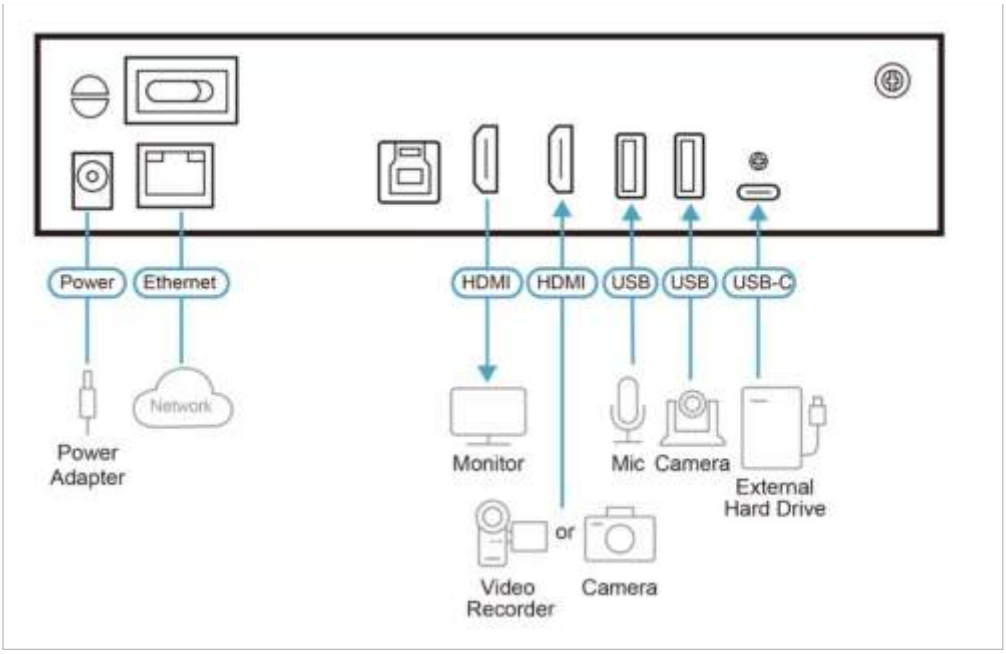


図 2-1 システム構成と接続の例

機器	役割	設置場所
本製品	入力された音声を Azure に送り、返ってきた字幕を映像と組み合わせて出力します	会議室
入力機器（PC、ビデオカメラなど）	翻訳したい音声と映像を、HDMI で本製品に送ります	会議室
ディスプレイ	本製品から出力された映像と字幕を表示します	参加者から見える場所
ネットワークスイッチ	本製品をインターネットと社内ネットワークにつなぎます	ラック、会議室など
設定用 PC	Web ブラウザーで本製品の設定を行います	本製品と同じネットワーク
外付けストレージ（USB-C）	会議の音声と字幕のファイルを保存します。録音しない場合は不要です	本製品の背面
Microsoft Azure 音声サービス	音声の文字起こしと翻訳を行うクラウドサービスです	インターネット上

© ATEN Japan Co., Ltd.

2.3 本製品で使えない環境

次の環境では、本製品の翻訳機能は使えません。構成を検討する前に確認してください。

- インターネットに接続できないネットワーク（文字起こしと翻訳は、インターネット上の Azure で行うため）
- Azure の契約がない環境（翻訳に使う「キー」は、Azure で音声サービスを作成すると発行されるため）

注意：翻訳できる音声の入力

初期バージョンのファームウェア（v1.0.064）は、USB マイクに対応していません。現時点で翻訳に使える音声は、HDMI 入力だけです。USB マイクへの対応は、今後のファームウェア更新で予定しています。

2.4 用語集

本書で使う用語をまとめます。

用語	意味
IP アドレス	ネットワーク上で機器を区別するための番号です。「192.168.0.60」のように 4 つの数字で表します
セグメント	機器どうしが直接通信できるネットワークの範囲です。IP アドレスとサブネットマスクで決まります
ファームウェア	機器本体に組み込まれているプログラムです。更新すると不具合の修正や機能追加が反映されます
Microsoft Azure	Microsoft が提供するクラウドサービスです。本書では「Azure」と書きます
Azure portal	Azure の契約や設定、料金を確認する Web 画面です
サブスクリプション	Azure の利用契約の単位です。料金はサブスクリプションごとに請求されます
リソースプロバイダー	Azure の各サービスを使えるようにするための登録です
音声サービス	音声を文字にし、翻訳する Azure のサービスです。英語名は Speech Service です
リソースグループ	Azure で作成したサービスをまとめて管理するための入れ物です
リージョン	Azure のサービスを動かすデータセンターの地域です。Azure portal では「場所/地域」、本製品の設定画面では「区域」と表示されます
キー	本製品が音声サービスを使うための文字列です。パスワードと同じように扱います
従量課金制	使った量に応じて料金を支払う契約方式です
プロファイル	字幕のレイアウトと表示する言語をまとめた設定です
モバイル字幕	参加者のスマートフォンやタブレットに字幕を表示する機能です
SRT ファイル	字幕の文字と表示時刻を記録したテキストファイルです

© ATEN Japan Co., Ltd.

3. 導入前の確認

この章では、箱を開けてから設置を始めるまでに確認することをまとめます。同梱品や必要な機器、ネットワークの条件を確認し、設定する値を先に決めておきます。

作業時間の目安	必要なもの	作業する場所
約 20 分	本書、筆記用具	開梱場所、机上

3.1 同梱品の確認

箱を開けたら、次の品がそろっているか確認してください。不足や破損がある場合は、購入元に連絡してください。

品名	数量	確認
IS4912 本体	1	☐
USB ケーブル（Type-A to Type-B、1.8 m）	1	☐
電源アダプター、電源コード	1 式	☐
説明書	1	☐

補足

同梱の USB ケーブルは、本体背面の USB 3.2 Gen2 Type-B 端子用です。この端子は将来の UVC 機能拡張のためのものとなります。

© ATEN Japan Co., Ltd.

3.2 別途用意するもの

次の品は同梱されていません。作業の前に確認してください。

品名	要件	備考
ディスプレイ	HDMI 入力端子があるもの	字幕と映像を表示します
入力機器	HDMI 出力端子がある PC、ビデオカメラなど	翻訳したい音声を本製品に送ります
HDMI ケーブル	2 本	入力機器用とディスプレイ用です
LAN ケーブル	カテゴリー 5e 以上	本製品とネットワークスイッチをつなぎます
ネットワークスイッチ	インターネットに接続できるもの	「3.4 ネットワーク要件」を参照
設定用 PC	「3.3 設定用 PC の要件」を参照	本製品の設定に使います
接地線	本体の接地端子に合うもの	本体を接地（アース）します
外付けストレージ	USB-C 接続の SSD、USB メモリーなど	会議を録音する場合に使います
Azure の契約	クレジットカードで支払う従量課金制	第 4 章で作成します
スマートフォン、タブレット	Web ブラウザーと QR コード読み取りができるもの	モバイル字幕の確認に使います

3.3 設定用 PC の要件

本製品の設定は、PC の Web ブラウザーで行います。設定用 PC は、次の条件を満たす必要があります。

項目	要件
OS	Windows 10 以降、または macOS 12 以降
Web ブラウザー	Microsoft Edge、Google Chrome などの最新版
ネットワーク	本製品と同じセグメントに接続できること
IP Installer	本製品の IP アドレスを調べるツールです。Windows でだけ動作します

3.4 ネットワーク要件

本製品は、音声を Azure に送って翻訳します。次の要件を満たすネットワークを用意してください。

項目	要件
インターネット接続	本製品から Azure に接続できること。翻訳中は常に接続が必要です
接続方式	有線 LAN（10/100/1000 Mbps 対応。100 Mbps 以上を推奨）
IP アドレス	DHCP による自動取得、または固定 IP アドレス。DHCP サーバーがない場合の初期値は 192.168.0.60 です
モバイル字幕を使う場合	参加者のスマートフォンを、本製品と同じネットワークに接続できること

ファイアウォールで許可する通信

本製品は、暗号化された通信（HTTPS）で Azure の音声サービスに接続します。社内のファイアウォールで外部への通信を制限している場合は、次の通信を許可してください。

通信先	ポート	方向	使用するもの	用途
*.speech.microsoft.com	TCP 443	本製品から インターネットへ	本製品	音声の文字起こしと翻訳
DNS サーバー	UDP 53、TCP 53	本製品から DNS サーバーへ	本製品	通信先の名前を IP アドレスに変換
本製品	TCP 443	社内 LAN 内（PC、スマートフォンから本製品へ）	Web ブラウザー（設定用 PC、参加者のスマートフォン）	設定画面、モバイル字幕の表示

通信先	ポート	方向	使用するもの	用途
本製品	TCP 80	社内 LAN 内（PC、スマートフォンから本製品へ）	Web ブラウザー	TCP 443 への転送（リダイレクト）
本製品	TCP 22	社内 LAN 内（PC から本製品へ）	SSH クライアント	本製品のリモート制御
本製品	TCP 23	社内 LAN 内（PC から本製品へ）	Telnet クライアント	本製品のリモート制御
本製品	UDP 57267	社内 LAN 内（PC と本製品の間）	IP Installer	本製品の IP アドレスの確認、変更

通信先の名前の先頭には、音声サービスを作成したリージョンが入ります（例：japaneast.stt.speech.microsoft.com）。「社内 LAN 内」の通信は、インターネットを経由しません。インターネット側から本製品への通信を許可する必要はありません。

注意：プロキシサーバーを経由するネットワーク

本製品の設定画面には、プロキシサーバーを指定する項目がありません。

プロキシを経由しないとインターネットに出られないネットワークでは、本製品が Azure に接続できません。設置の前に、プロキシを経由せずにインターネットへ接続できるか、ネットワーク管理者に確認してください。

3.5 設置環境の注意

警告

電源は、本製品に付属の電源アダプターを使ってください。

本製品は、必ず接地（アース）してください。電源の異常や静電気による故障を防ぎます。

本製品の上に物を置いたり、通気口をふさいだりしないでください。

本製品は屋内専用です。水のかかる場所や、暖房器具の近くに置かないでください。

設置場所は、次の条件を満たす場所を選んでください。

項目	条件
温度	0 ～ 40 ℃
湿度	0 ～ 80 %RH（結露しないこと）
場所	直射日光、ほこり、振動を避けた、平らで安定した場所
通気	布やじゅうたんなど柔らかいものの上に置かず、周囲に通気の空間を確保します

3.6 設定前に決めておく項目

設定の途中で迷わないように、次の値を先に決めて記入してください。この表は、付録の「設定記録シート」にもあります。

項目	決めた値	備考
本製品の IP アドレス		固定 IP アドレスを推奨します
サブネットマスク、ゲートウェイ		固定 IP アドレスに合わせて決めます
管理者の新しいパスワード		初回ログイン時に変更します
Azure のリソースグループ名、リソース名		第 4 章で使います
表示する言語		最大 4 言語
モバイル字幕のパスワード		モバイル字幕を使う場合

ヒント

管理者のパスワードは、初回ログイン時に必ず変更を求められます。作業を止めないよう、先に決めておきます。表には、パスワードそのものではなく保管場所を記入してください。

4. Microsoft Azure の準備

この章では、本製品が翻訳に使う Azure の音声サービスを準備します。本製品に入力する「キー」と「場所/地域」の 2 つの値を控えたら完了です。

作業時間の目安	必要なもの	作業する場所
約 30 分	インターネットに接続した PC、クレジットカード	任意の PC

すでに Azure の従量課金制アカウントがある場合は、「4.2 リソースプロバイダーを確認する」から始めてください。

注意：料金について

音声サービスは、使った時間に応じて料金がかかります。料金は、Azure に登録したクレジットカードに Microsoft から請求されます。

料金の目安と確認方法は「7.4」、使いすぎを防ぐ方法は「7.5」を参照してください。

補足：画面の表示が本書と違うとき

Azure の画面は、Microsoft が予告なく変更します。本書の画面と違う場合は、項目名を手がかりに操作してください。

© ATEN Japan Co., Ltd.

4.1 Azure のアカウントを作成する

Azure を使うための従量課金制アカウントを作成します。

1. Web ブラウザーで次のページを開きます。

   https://azure.microsoft.com/ja-jp/pricing/purchase-options/azure-account

2. 「従量課金制」のアカウントを選び、「サインアップ」をクリックします。
3. 画面の案内に従い、氏名などの個人情報と、支払いに使うクレジットカードの情報を登録します。
4. 登録が終わると、Azure portal のホーム画面が表示されます。



図 4-1 従量課金制アカウントの申し込み画面の例



図 4-2 Azure portal のホーム画面

ホーム画面が表示されれば、アカウントの作成は完了です。

4.2 リソースプロバイダーを確認する

音声サービスを使うには、サブスクリプションに「Microsoft.CognitiveServices」というリソースプロバイダーの登録が必要です。ここでは、その登録を確認します。

1. ホーム画面で「サブスクリプション」をクリックします。
2. 一覧から、料金を支払うサブスクリプションをクリックします。
3. 画面左のメニューで「設定」を開き、「リソースプロバイダー」をクリックします。
4. フィルター欄に「Microsoft.CognitiveServices」と入力します。
5. 状態が「Registered」（登録済み）であることを確認します。
6. 「NotRegistered」の場合は、その行を選び、画面上部の「登録」をクリックします。



図 4-3 ホーム画面の「サブスクリプション」

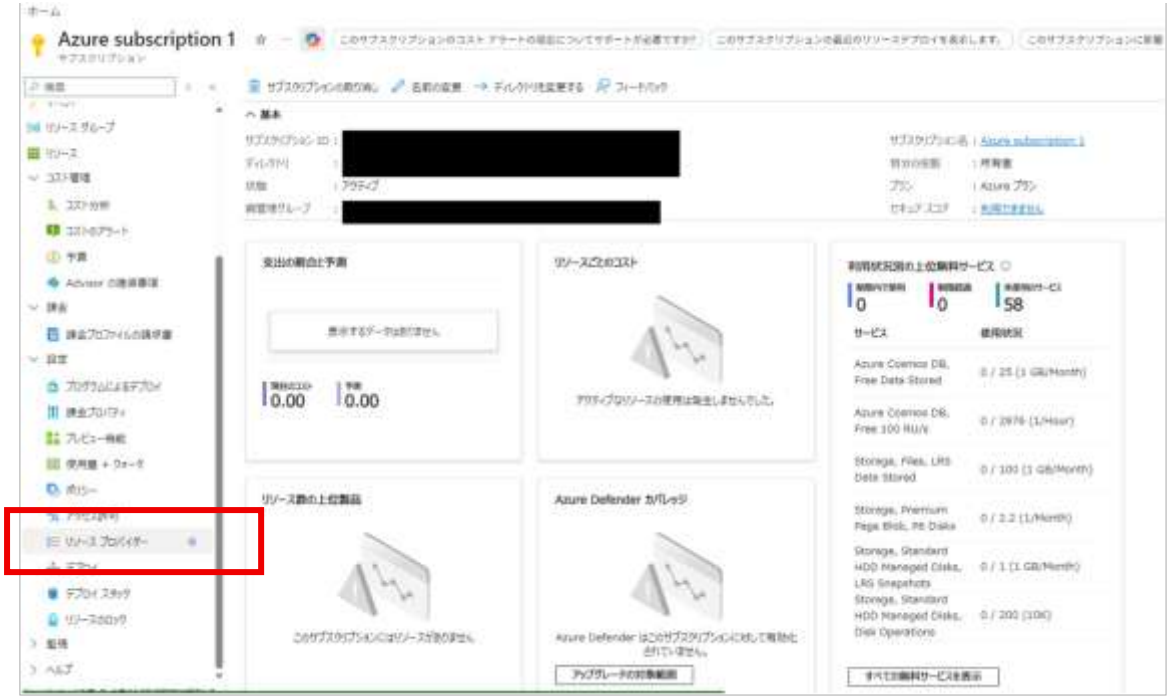


図 4-4 「設定」の「リソースプロバイダー」

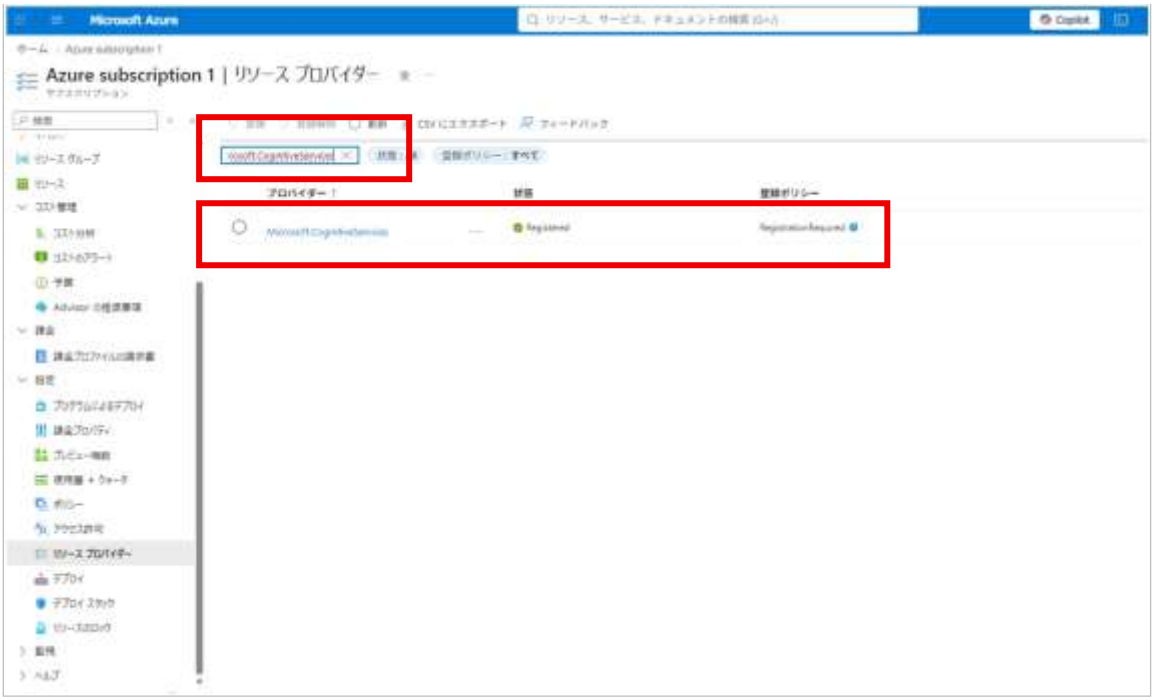


図 4-5 「Microsoft.CognitiveServices」の状態

状態が「Registered」になったら、画面左上の「Microsoft Azure」をクリックしてホーム画面に戻ります。

4.3 音声サービスを作成する

本製品が使う音声サービスを作成します。作成すると、本製品の設定に必要なキーが発行されます。

1. 画面上部の検索欄に「speech」と入力し、候補から「音声サービス」を選びます。
2. 「Microsoft Foundry | 音声サービス」の画面で「＋作成」をクリックします。
3. 「Speech Services の作成」画面で、次の表のとおりに入力します。

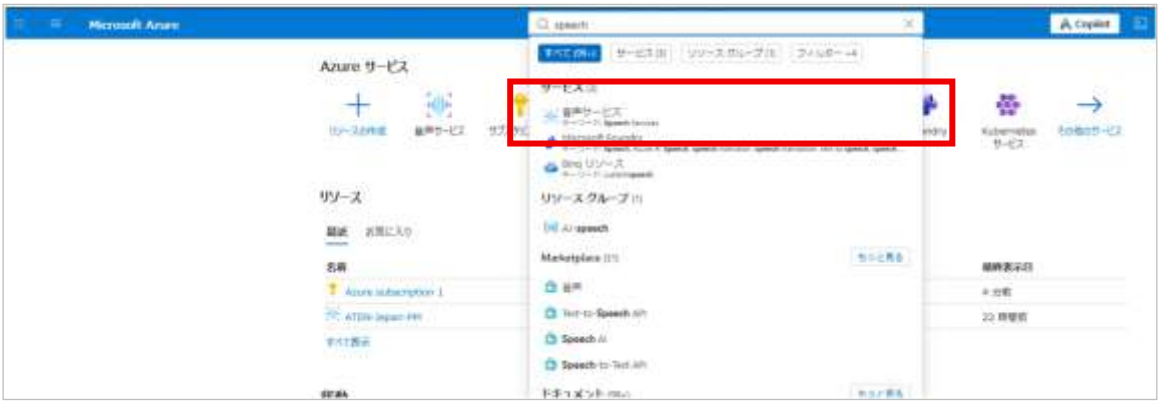


図 4-6 検索欄で「音声サービス」を選ぶ



図 4-7 「＋作成」をクリックする

項目	入力する内容
サブスクリプション	4.2 で確認した、料金を支払うサブスクリプションを選びます
リソースグループ	「新規作成」をクリックし、任意の名前を入力します
リージョン	日本国内で使う場合は「Japan East」または「Japan West」を選びます
名前	任意の名前を入力します。ほかの利用者がすでに使っている名前は登録できません
価格レベル	評価やテストでは「Free F0」、本番の会議では「Standard S0」を選びます



図 4–8 リソースグループを新規作成する

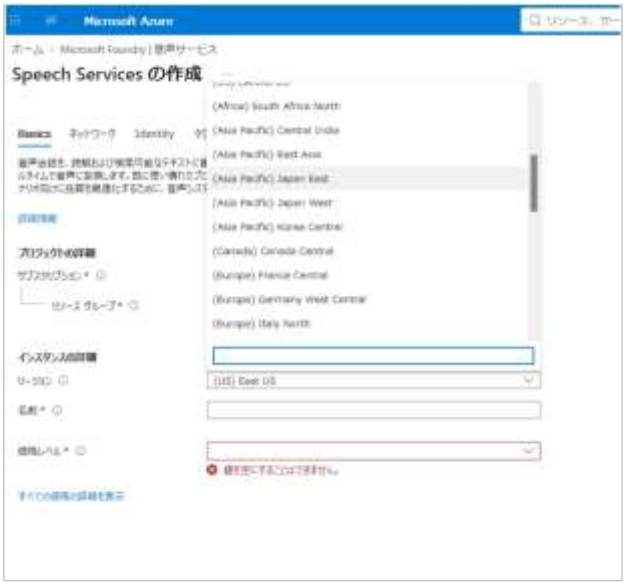


図 4–9 リージョンを選ぶ



図 4-10 価格レベルを選ぶ

注意:「Free F0」の無料枠

「Free F0」は、無料で使える時間や同時に処理できる数に上限がある価格レベルです。本製品の動作を評価するときに使います。上限の内容は、Microsoft が変更することがあります。最新の内容は、Microsoft の料金ページで確認してください。

上限に達すると、会議の途中でも翻訳が止まります。本番の会議では「Standard S0」を選んでください。

https://azure.microsoft.com/ja-jp/pricing/details/cognitive-services/speech-services/

補足:リージョンの選び方

「Japan East」と「Japan West」は、どちらを選んでも本製品で使えます。

リージョンごとの違いは、Microsoft の公式サイトで確認してください。

4. 入力が終わったら「確認と作成」をクリックします。
5. 確認画面で内容を確かめ、「作成」をクリックします。
6. 「デプロイが完了しました」と表示されたら、「リソースに移動」をクリックします。

© ATEN Japan Co., Ltd.



図 4-11 入力が終わった状態



図 4-12 作成が完了した画面

4.4 キーと場所/地域を控える

本製品の設定に必要な値は、「キー 1」と「場所/地域」の 2 つです。作成した音声サービスの画面で確認します。

1. 作成した音声サービスの画面で、「キーとエンドポイント」の欄を表示します。
2. 「キーの表示」をクリックし、「キー 1」の値を右のボタンでコピーします。
3. 「場所/地域」の値（例：japaneast）を控えます。
4. この画面を開いたままにしておくか、2 つの値を安全な場所に保存します。

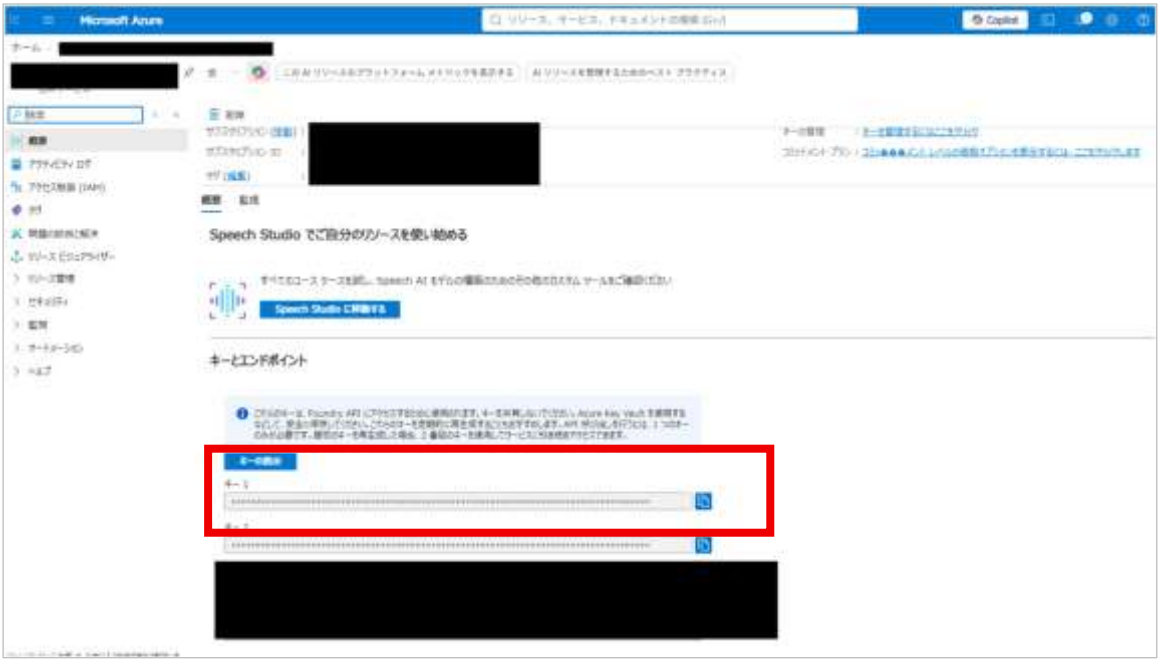


図 4-13 作成した音声サービスの画面



図 4-14 「キー 1」と「場所/地域」

注意：キーは機密情報です

キーは、パスワードと同じように扱う機密情報です。キーを知っている人は、お客様の契約で音声サービスを使えます。第三者に知られると、身に覚えのない料金が発生するおそれがあります。

キーをメールやチャットに貼り付けたり、画面を撮影して共有したりしないでください。

設定記録シートには、キーそのものではなく保管場所を記入してください。

補足：キー 1 とキー 2

キー 1 とキー 2 は、どちらも本製品で使えます。2 つあるのは、キーを交換するときに利用を止めずに切り替えるためです。キーが漏れたおそれがあるときは、「キーとエンドポイント」の画面でキーを再生成し、新しいキーを本製品に設定し直してください。

この章の完了条件

「キー 1」と「場所/地域」の値を控えたら、この章は完了です。第 5 章に進んでください。

5. 機器の接続と電源投入

この章では、本製品にケーブルをつなぎ、電源を入れます。作業後、本製品の電源が入り、ネットワークに接続していれば完了です。

作業時間の目安	必要なもの	作業する場所
約 20 分	HDMI ケーブル、LAN ケーブル、接地線	会議室

警告

ケーブルを抜き差しするときは、本製品の電源を切ってください。電源を入れたまま抜き差しすると、故障するおそれがあります。

5.1 背面の端子

接続の全体像は「図 2-1　システム構成と接続の例」を参照してください。背面の端子は、次のとおりです。

端子	接続するもの
電源スイッチ	本製品の主電源を入れたり切ったりします
接地端子	接地線をつなぎます
電源ジャック	付属の電源アダプターをつなぎます
LAN（RJ-45）	ネットワークスイッチにつなぎます
USB Type-B	将来の機能拡張のための端子です。現在は使いません
HDMI 出力	字幕を表示するディスプレイをつなぎます
HDMI 入力	翻訳したい音声と映像を送る PC やビデオカメラをつなぎます
USB Type-A（音声）	USB マイクなど音声の入力機器用の端子です。初期バージョンのファームウェアでは使えません
USB Type-A（カメラ）	USB カメラなど映像の入力機器用の端子です。初期バージョンのファームウェアでは使えません
USB-C（ストレージ）	録音に使う外付けストレージをつなぎます

© ATEN Japan Co., Ltd.

5.2 ケーブルを接続する

次の順番で接続します。電源アダプターは最後につなぎます。

1. 接地線の一方を本製品の接地端子に、もう一方を接地された場所につなぎます。
2. HDMI 入力端子に、PC やビデオカメラなどの入力機器をつなぎます。
3. HDMI 出力端子に、字幕を表示するディスプレイをつなぎます。
4. 録音する場合は、USB-C 端子に外付けストレージをつなぎます。
5. LAN 端子とネットワークスイッチを、LAN ケーブルでつなぎます。
6. 電源アダプターを電源ジャックにつなぎ、電源コードをコンセントに差します。

警告:接地を省略しない

接地を省略すると、電源の異常や静電気で本製品が故障するおそれがあります。必ず接地してから電源を入れてください。

5.3 電源を入れる

1. ネットワークスイッチとディスプレイの電源が入っていることを確認します。
2. 本製品背面の電源スイッチを入れます。
3. 本製品前面の電源ボタンを押します。

この章の完了条件

本製品の電源が入り、LAN ケーブルでネットワークにつながっていれば、この章は完了です。第 6 章に進んでください。

© ATEN Japan Co., Ltd.

6. 初回セットアップ

この章では、設定画面にログインして Azure のキーと字幕のレイアウト、モバイル字幕を設定します。章末のチェックリストをすべて確認できたら、セットアップは完了です。作業の前に、設定用 PC を本製品と同じネットワークに LAN ケーブルで接続してください。

作業時間の目安	必要なもの	作業する場所
約 40 分	設定用 PC、第 4 章で控えたキーと場所/地域、設定記録シート	設定用 PC

6.1 本製品の IP アドレスを調べる

設定画面を開くには、本製品の IP アドレスが必要です。弊社のツール「IP Installer」を使うと、同じセグメントにある本製品の IP アドレスを調べられます。

1. 設定用 PC で次のページを開き、IP Installer をダウンロードします。

   https://www.aten.com/jp/ja/resources/tool/ip-installer/

2. ダウンロードしたファイルが圧縮されている場合は、展開します。
3. 「IPInstaller.exe」を実行します。
4. 「Device List」に本製品（IS4912）が表示されます。「IP Address」の値を控えます。



図 6-1 IP Installer のダウンロードページ

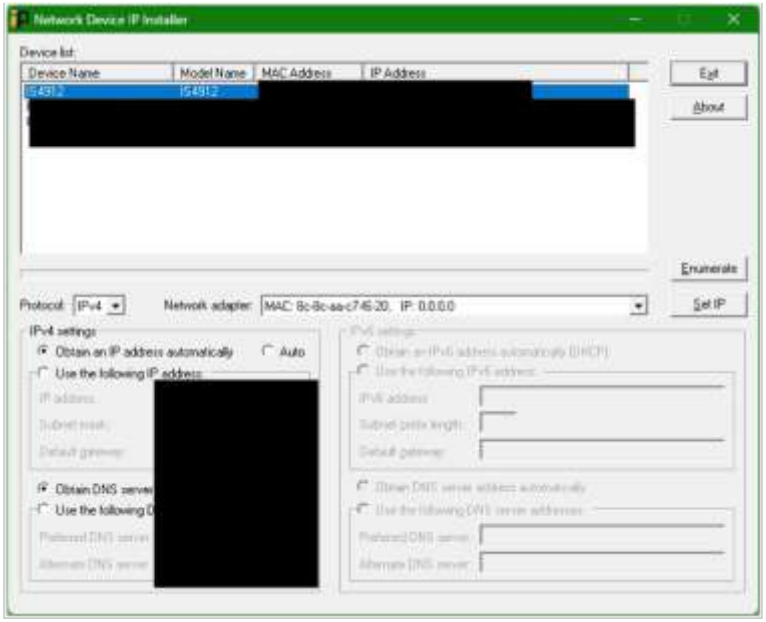


図 6-2 IP Installer の画面

補足：本製品が一覧に表示されないとき

「Enumerate」をクリックすると、一覧を更新できます。

本製品が複数台ある場合は、MAC アドレスで区別します。MAC アドレスは本体底面に記載されています。

補足：Windows の警告が表示されたとき

IP Installer を実行すると、Windows が「Windows によって PC が保護されました」と表示することがあります。これは、Windows の SmartScreen という機能が、ダウンロードしたファイルに対して出す確認画面です。「詳細情報」をクリックし、「実行」を選ぶと続行できます。

ヒント：IP Installer を使えないとき

DHCP サーバーがないネットワークでは、本製品の IP アドレスは初期値の 192.168.0.60 になります。

この場合は、設定用 PC の IP アドレスを一時的に 192.168.0.xxx（192.168.0.60 以外。例：192.168.0.100）に変更します。その後、Web ブラウザーのアドレス欄に 192.168.0.60 を入力すると、設定画面を開けます。

© ATEN Japan Co., Ltd.

6.2 ログインしてパスワードを変更する

はじめてログインするときは、初期アカウントを使います。初回は、セキュリティを保つため、必ずパスワードの変更を求められます。

1. 設定用 PC の Web ブラウザーのアドレス欄に、本製品の IP アドレスを入力します。
2. ログイン画面で、次の初期アカウントを入力し、「ログイン」をクリックします。

   ユーザー名：administrator

   パスワード：password
3. パスワードの変更を求められたら、新しいパスワードを入力して変更します。
4. 新しいパスワードで、もう一度ログインします。



図 6-3 ログイン画面

ログインに成功すると「ログインに成功しました」と表示され、会議の画面が開きます。

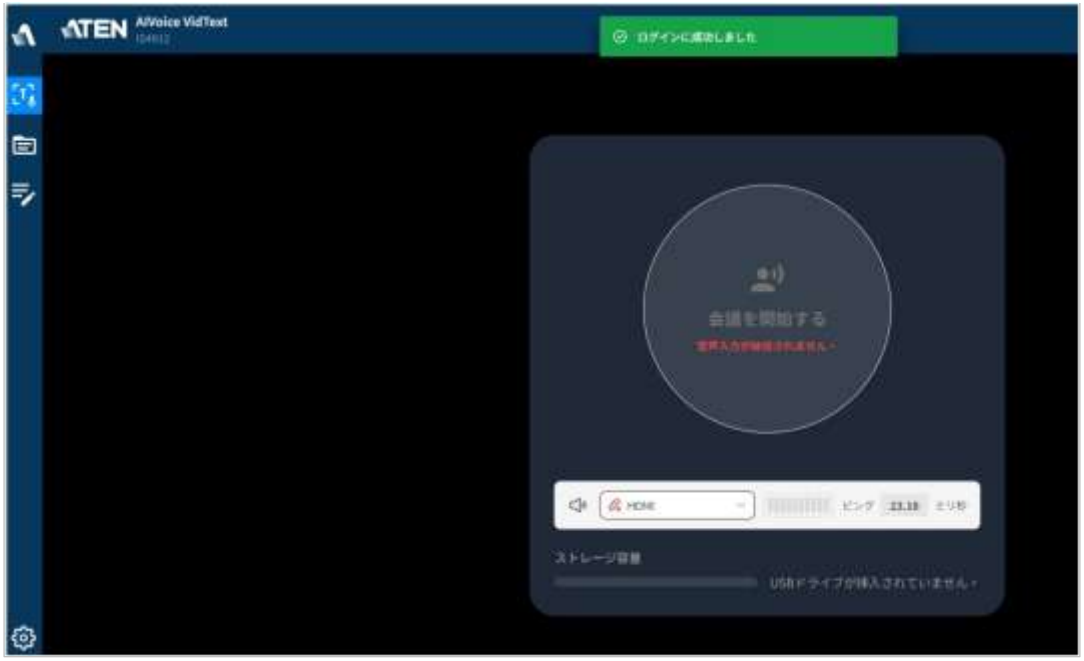


図 6-4 ログイン後の会議の画面

注意

構築した業者様がすでにパスワードを変更している場合は、業者様から案内されたアカウントでログインしてください。パスワードが不明な場合、弊社では調べられません。構築した業者様に確認してください。

ヒント

新しいパスワードは、管理者だけが見られる場所に保管してください。付録の「設定記録シート」には、パスワードそのものではなく保管場所を記入します。

6.3 IP アドレスを固定する（推奨）

DHCP で IP アドレスを自動取得していると、本製品を再起動したときに IP アドレスが変わることがあります。変わると、設定画面のアドレスやモバイル字幕の QR コードも変わるため、IP アドレスの固定をおすすめします。

1. 画面左下の歯車のアイコンをクリックし、「ネットワーク」タブを開きます。
2. モードを固定 IP に切り替えます。
3. 第 3 章で決めた IP アドレスとサブネットマスク、ゲートウェイを入力します。
4. 「保存」をクリックします。
5. 新しい IP アドレスで設定画面を開けることを確認します。

注意

変更後の IP アドレスを忘れると、設定画面を開けなくなります。設定記録シートに必ず記入してください。

6.4 Azure のキーと区域を設定する

第 4 章で控えた「キー 1」と「場所/地域」を本製品に設定します。この設定で、本製品が Azure の音声サービスを使えるようになります。

1. 画面左下の歯車のアイコンをクリックし、「AI 設定」タブを開きます。
2. 「AI サーバー」の欄の右にある歯車のアイコンをクリックします。
3. 「AI」で「Microsoft Azure」を選びます。
4. 「キー」に、控えた「キー 1」の値を貼り付けます。
5. 「区域」で、控えた「場所/地域」と同じ値（例：japaneast）を選びます。
6. 「保存」をクリックします。



図 6-5 「AI 設定」タブ

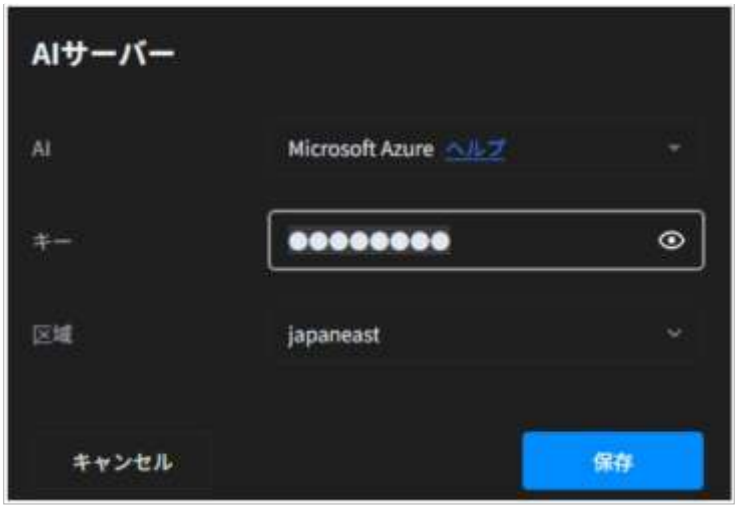


図 6-6 キーと区域の入力

注意

「区域」は、Azure で音声サービスを作成したリージョンと同じ値を選んでください。違う値を選ぶと、翻訳が始まりません。

翻訳のタイミングを調整する

「AI 設定」タブの下半分では、字幕を確定するタイミングを調整できます。字幕を早く出すほど翻訳の正確さが下がり、遅くするほど正確さが上がります。

設定項目	内容	初期値
文字起こしの安定性のチェック	1 ～ 3 で設定します。1 は字幕が早く出ますが、文の途中で区切られやすくなります	3
文章区切りのロジック	文の区切り方を選びます。初期値では、Azure が話の間や抑揚から区切りを判断します	中(デフォルト)
文章区切りのタイムアウト	区切り方をカスタムにした場合に、区切りと判断するまでの時間を 100 ～ 5000 ミリ秒で設定します	500 ms
安定した結果のみを翻訳	オンにすると、確定した文だけを翻訳します。オフにすると字幕は早く出ますが、表示が揺れたり誤りが増えたりします	オン

適切な設定は、話す人や会場の環境によって変わります。まず初期値のまま試し、字幕の速さと正確さを見ながら調整してください。変更した後は「保存」をクリックします。

ヒント：会議トピックの設定

「会議トピックの設定」に会議に関係するキーワード（製品名、専門用語など）を登録すると、文字起こしと翻訳の正確さが上がります。

ただし、キーワードが多すぎると、認識の速度が下がることがあります。

6.5 字幕のレイアウトを作成する

字幕をどのように表示するかは、「プロファイル」として保存します。画面左側にプロファイルの一覧、中央に選んだプロファイルのレイアウトが表示されます。

1. 画面左の字幕のアイコン（上から 3 番目）をクリックします。
2. プロファイルの一覧の上にある「＋」をクリックします。
3. 「レイアウトプロファイル名」に名前を入力し、テンプレートからレイアウトを選びます。
4. 「新しいプロファイル」をクリックします。

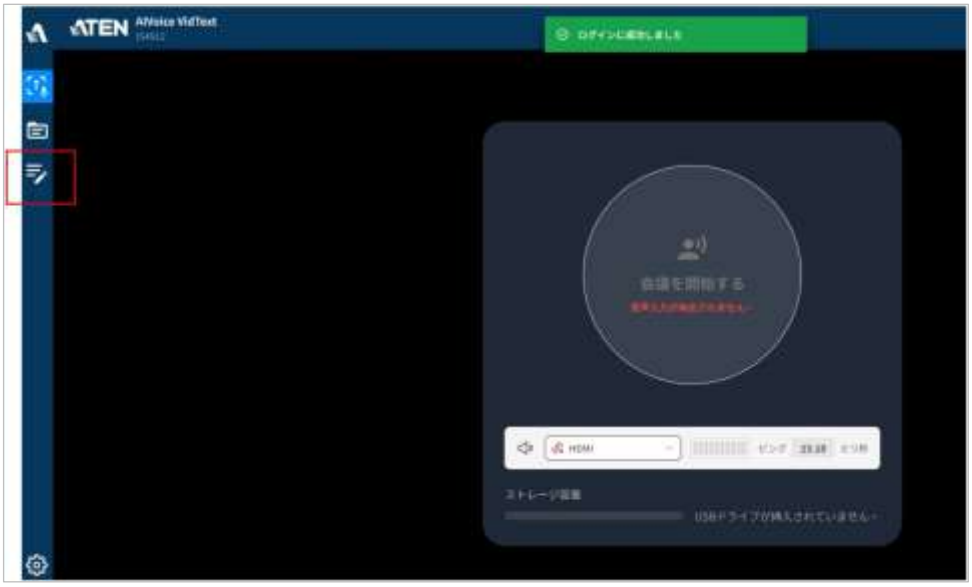


図 6-7 字幕のアイコン



図 6-8 「＋」をクリックする



図 6-9 テンプレートからレイアウトを選ぶ

作成したプロファイルが一覧に追加され、中央にレイアウトが表示されます。作成した後も、レイアウトや言語は自由に変更できます。

補足：テンプレートの探し方

テンプレートは 21 種類あります。画面左の「1 個の字幕」～「4 個の字幕」をクリックすると、表示する字幕の数で絞り込めます。

作成した後でレイアウトを変更する

1. 一覧から変更するプロファイルを選びます。
2. 画面右の「スタイルのカスタマイズ」にある「ビデオウォール」をクリックします。
3. 表示したい字幕に合ったレイアウトを選び、「確認」をクリックします。



図 6-10 「スタイルのカスタマイズ」の「ビデオウォール」

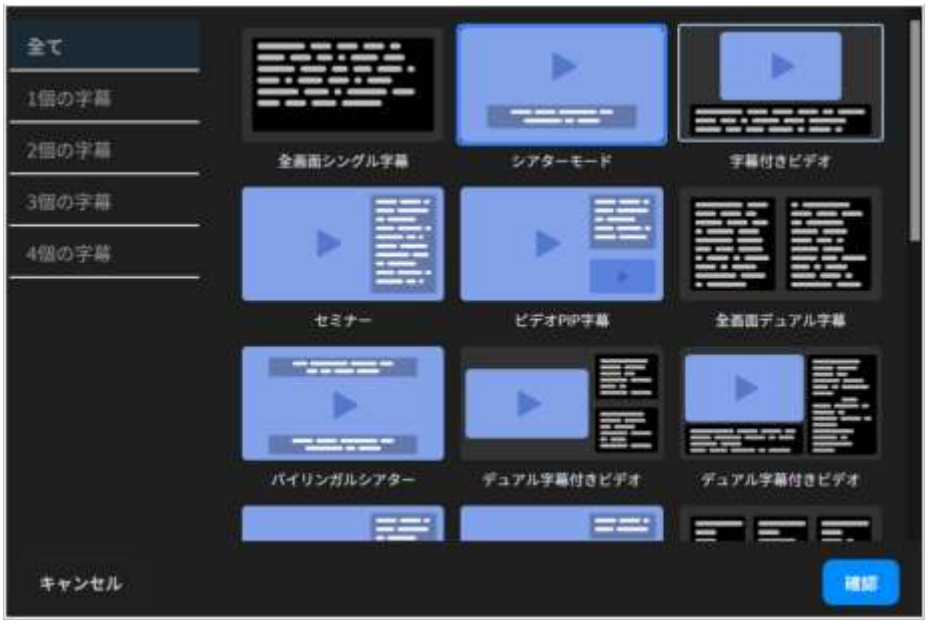


図 6-11 レイアウトの一覧（例：セミナー）

テンプレートを選んだ直後は、字幕の枠に「オリジナル」と表示されます。「オリジナル」は、話した言葉を翻訳せずにそのまま表示する設定です。



図 6-12 選んだ直後のレイアウト

6.6 翻訳する言語と文字の大きさを選ぶ

字幕の枠ごとに、表示する言語と文字の大きさを選びます。

1. 中央のレイアウトで、「オリジナル」と表示された字幕の枠をクリックします。
2. 画面右の一覧から、表示する言語を選びます。「検索言語」の欄で言語名を検索できます。
3. 「フォントサイズ」で文字の大きさを選びます。
4. 「保存」をクリックします。

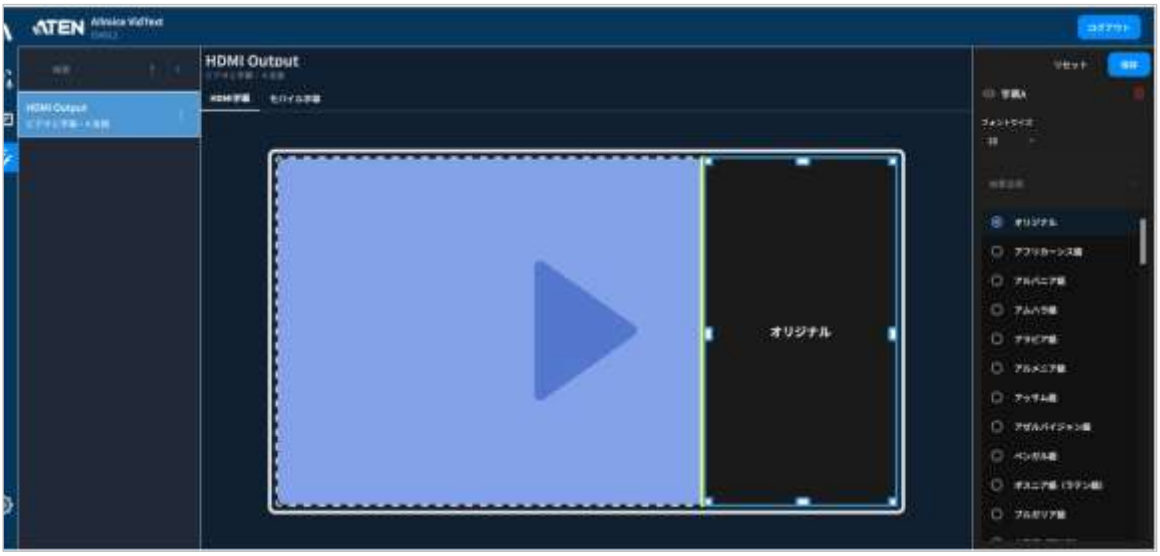


図 6-13 言語とフォントサイズの選択

補足

1 つのレイアウトで表示できる言語は、最大 4 つです。

画面右の「音声言語」は、話す人の言語の設定です。初期値は「自動」です。

翻訳できる言語は、弊社製品ページの対応言語一覧（PDF）で確認できます。

6.7 モバイル字幕を設定する

モバイル字幕を使うと、参加者が自分のスマートフォンやタブレットの Web ブラウザーで字幕を見られます。ディスプレイが見えにくい席や、字幕用ディスプレイを置けない会場で役立ちます。

1. プロファイルを選び、「モバイル字幕」タブをクリックします。
2. 「モバイル字幕」のスイッチをオンにします。
3. 次の表を参考に、各項目を設定します。
4. 「保存」をクリックします。

© ATEN Japan Co., Ltd.

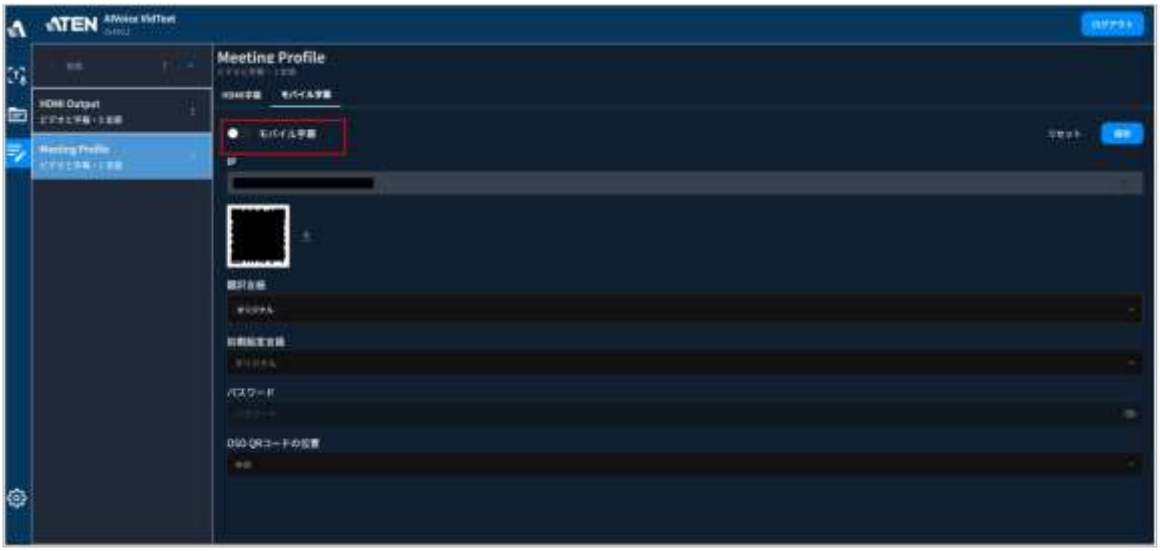


図 6-14 「モバイル字幕」タブ

項目	内容
IP	スマートフォンから字幕を見るためのアドレスです
QR コード	参加者が読み取ると、字幕のページが開きます。右のボタンで画像を保存できます
翻訳言語	参加者が選べる言語です。複数選べます
初期設定言語	スマートフォンで開いたときに、最初に表示される言語です
パスワード	字幕のページを開くときのパスワードです
OSD QR コードの位置	本体の「QR CODE」ボタンを押したときに、ディスプレイに QR コードを表示する位置です

注意：パスワードを設定しない場合

パスワードを空欄にすると、本製品と同じネットワークにいる人は誰でも字幕を見られます。

社外秘の内容を扱う会議では、パスワードを設定してください。

補足

参加者のスマートフォンは、本製品と同じネットワーク（社内の Wi-Fi など）に接続している必要があります。携帯電話回線で接続したスマートフォンでは、字幕を見られません。

6.8 動作を確認する

実際に音声を入力し、字幕が表示されることを確認します。

1. 画面左の会議のアイコン（一番上）をクリックします。
2. 音声の入力元が「HDMI」になっていることを確認します。
3. 「会議を開始する」をクリックします。
4. 入力機器から音声を流し、ディスプレイに字幕が表示されることを確認します。
5. モバイル字幕を使う場合は、スマートフォンで QR コードを読み取り、字幕が表示されることを確認します。



図 6-15 「会議を開始する」

会議を開始した後、本製品が音声を検出すると、自動で翻訳が始まります。

補足：「音声入力が検出されません。」と表示されたとき

入力機器が HDMI で本製品につながっているか、入力機器から音声が出ているかを確認してください。

6.9 セットアップ完了チェックリスト

次の項目をすべて確認できたら、セットアップは完了です。

- ☐ Azure で音声サービスを作成し、キーと場所/地域を控えた
- ☐ 管理者のパスワードを初期値から変更した
- ☐ 本製品の IP アドレスを固定し、設定記録シートに記入した
- ☐ 「AI 設定」に、キーと区域を設定した
- ☐ 字幕のプロファイルを作成し、ディスプレイに字幕が表示された
- ☐ モバイル字幕を使う場合、スマートフォンで字幕を表示できた
- ☐ 録音する場合、会議の画面に外付けストレージの容量が表示されている

© ATEN Japan Co., Ltd.

7. 会議での使いかた

この章では、会議の当日に行う操作と、録音したファイルや Azure の利用料金の確認方法を説明します。

7.1 前面のボタン

会議の開始と終了は、Web ブラウザーを使わずに本体前面のボタンでも操作できます。



図 7-1 本製品の前面

ボタン	働き
SUBTITLE	翻訳と字幕の表示を開始します。もう一度押すと終了します
QR CODE	ディスプレイに、モバイル字幕の QR コードを表示します。表示中はボタンがオレンジ色に点灯します
PROFILE	保存したプロファイルを呼び出します
MENU	ディスプレイにメニューを表示します
▲、▼	メニューの項目を選びます
ENTER	選んだ項目を決定します
ESC	メニューを閉じるか、1 つ前の画面に戻ります
電源ボタン	本製品をスタンバイモードにします

© ATEN Japan Co., Ltd.

7.2 会議を始める、終える

1. モバイル字幕を使う場合は、会議の前に「QR CODE」ボタンを押し、ディスプレイに QR コードを表示します。参加者に読み取ってもらいます。
2. 会議を始めるときは、「SUBTITLE」ボタンを押します。
3. 会議を終えるときは、もう一度「SUBTITLE」ボタンを押します。

「SUBTITLE」ボタンを押すと、本製品が Azure に接続するため、翻訳が始まるまで数秒かかります。終了した後、字幕はしばらくすると消えます。

ヒント

Web ブラウザーの会議の画面で「会議を開始する」をクリックしても、同じように会議を始められます。

7.3 録音と字幕のファイル

USB-C 端子に外付けストレージをつないでいると、会議の音声と字幕が自動でファイルに保存されます。

種類	保存先のフォルダー	ファイル名の例	内容
音声	recordings	recording_20261021_120640.mp3	入力された元の音声です
字幕	subtitles	meeting_42_20261021_120640_translation_ja.srt	選んだ言語ごとに、SRT ファイルが作成されます

ファイル名には、会議を始めた日付と時刻が入ります。

補足

会議の音声と字幕は、本製品の本体には残りません。外付けストレージを外すと、本製品からは参照できなくなります。

SRT ファイルはテキストファイルです。メモ帳などのテキストエディターや、動画編集ソフトで開けます。

7.4 Azure の利用料金を確認する

音声サービスの利用料金は、Azure portal で確認できます。

1. Azure portal のホーム画面で「サブスクリプション」をクリックし、料金を支払うサブスクリプションを開きます。
2. 画面左のメニューで「コスト管理」を開き、「コスト分析」をクリックします。

© ATEN Japan Co., Ltd.

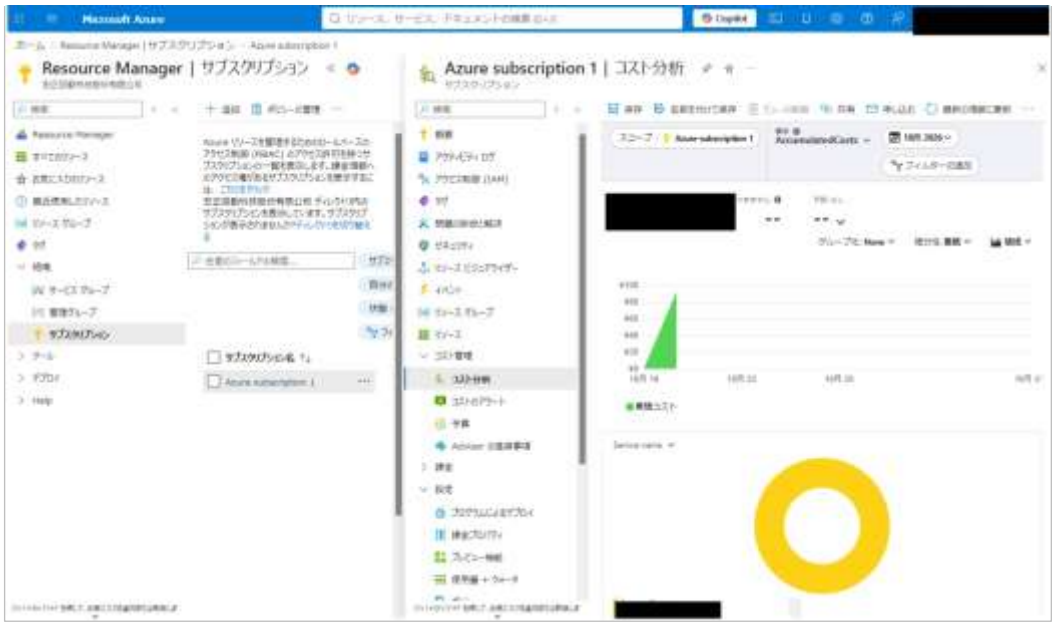


図 7-2 「コスト分析」の画面

弊社の評価では、本製品で Azure を使った場合の料金は 1 時間あたり約 500 円でした※。

※ 2026 年 10 月時点で、ATEN ジャパンが社内の技術評価をもとに試算した金額です。利用環境や Azure の料金改定によって変わるため、実際の金額を保証するものではありません。料金の詳細は Microsoft にお問い合わせください。

7.5 予算を設定して使いすぎを防ぐ

Azure の「予算」を設定すると、利用料金が決めた金額に近づいたときにメールで通知を受けられます。会議が多い月の使いすぎに早く気付けます。

1. Azure portal で料金を支払うサブスクリプションを開きます。
2. 画面左のメニューで「コスト管理」を開き、「予算」をクリックします。
3. 画面上部の「＋追加」をクリックします。
4. 予算の名前と、1 か月の予算額を入力します。
5. 「リセット期間」と「有効期限」を確認し、「次へ」をクリックします。
6. 「通知の設定」で、通知する条件（予算に対する割合）と、通知を受け取るメールアドレスを入力します。
7. 「作成」をクリックします。

注意：予算を超えても利用は止まりません

予算は、通知を送るための設定です。予算額を超えても、音声サービスの利用と料金の発生は止まりません。通知を受け取ったら、「7.4」の方法で利用状況を確認してください。

補足

予算の名前と期間の設定は、作成した後で変更できません。

ヒント：予算額の決め方

「7.4」の目安（1 時間あたり約 500 円）に、1 か月の会議時間を掛けると予算額の目安になります。

例えば、1 か月に 20 時間使う場合は約 1 万円です。通知の条件は、80 % と 100 % の 2 段階にすると気付きやすくなります。

© ATEN Japan Co., Ltd.

8. 困ったときは

この章では、よくある症状と確認の順番をまとめます。症状の表で当てはまる行を探し、「まず確認すること」から順に試してください。解決しない場合は、第 1 章の連絡先に相談してください。

8.1 症状から探す

症状	まず確認すること	対処
設定画面が開かない	設定用 PC と本製品が同じセグメントにあるか	IP Installer で本製品の IP アドレスを確認し、アドレス欄に入力し直します
IP Installer に本製品が表示されない	LAN ケーブルがつながり、本製品の電源が入っているか	「Enumerate」をクリックします。表示されない場合は、6.1 のヒントの方法で接続します
翻訳が始まらない、字幕が出ない	本製品がインターネットに接続できるか	「AI 設定」のキーと区域を確認します。「ファイアウォールで許可する通信」も確認します
「音声入力が検出されません。」と表示される	入力機器から音声が出ているか	HDMI ケーブルを差し直します。音声の入力元が「HDMI」か確認します
スマートフォンで字幕が見られない	スマートフォンが本製品と同じネットワークにあるか	「モバイル字幕」のスイッチがオンか、パスワードが正しいか確認します
字幕が遅い、文の途中で切れる	「AI 設定」の各項目	「翻訳のタイミングを調整する」を参照して調整します
ファイルが保存されない	会議の画面に外付けストレージの容量が表示されているか	外付けストレージを USB-C 端子に差し直します。空き容量も確認します

8.2 よくある質問

Q. 翻訳には、どれくらいのデータ通信量が必要ですか。

A. 目安は、最大で約 2 Mbps、平均で約 1 Mbps です。翻訳のための通信は、翻訳している間だけ発生します。

Q. 翻訳には、どれくらいの遅れが出ますか。

A. 弊社のテストでは、一般家庭のネットワークで約 0.5 秒の遅れでした。オフィスで複数の人が同時にアクセスした状況では、約 20 秒の遅れを記録しています。本製品は、認識した順に翻訳します。遅れが大きくなる主な原因は、次のとおりです。

© ATEN Japan Co., Ltd.

・声が小さい、周囲の雑音が多いなど、音声を認識しにくい

・Wi-Fi ルーターなどの通信経路で遅れが出ている、またはセキュリティ設定で通信が制限されている

・サポートが終了した古いスマートフォンなど、処理能力の低い端末で字幕を見ている

Q. 初期パスワードでログインできません。

A. 構築した業者様がパスワードを変更している可能性があります。業者様に確認してください。弊社では、設定されたパスワードを調べられません。

Q. インターネットに接続しないで使えますか。

A. 使えません。文字起こしと翻訳は、インターネット上の Azure で行います。

Q. Azure の料金は、どこから請求されますか。

A. Azure に登録したクレジットカードに、Microsoft から請求されます。ATEN ジャパンや ATEN International が、Azure の料金を請求することはありません。

Q. 会議の内容は本製品に残りますか。

A. 本製品の本体には残りません。音声と字幕は、背面の USB-C 端子につないだ外付けストレージにだけ保存されます。

Q. 1 台の本製品に、何人まで同時にアクセスできますか。

A. 最大 50 人です。51 人目からは「404 error」と表示され、アクセスできません。

Q. HDMI 出力の映像は、どれくらい遅れますか。

A. 約 80 ミリ秒（60 fps で約 5 フレーム）遅れます。

8.3 問い合わせの前に

第 1 章「問い合わせの前に準備する情報」の項目をそろえてから、連絡してください。Azure の契約や請求に関するご質問は、Microsoft にお問い合わせください。

付録 A 設定記録シート

設定した値を記入し、管理者だけが見られる場所に保管してください。機器の交換や問い合わせのときに必要になります。

項目	値	記入日
ファームウェアのバージョン		
本製品の IP アドレス		
管理者アカウント名		
管理者パスワードの保管場所		
Azure のサブスクリプション名		
リソースグループ名、リソース名		
リージョン（区域）		
キーの保管場所		
モバイル字幕のパスワードの保管場所		

機器名	シリアル番号	IP アドレス	設置場所	ファームウェア

付録 B 改訂履歴

版	日付	変更内容	担当
1.0	2026 年 11 月 09 日	初版	**製品戦略課**

窓口	内容	連絡先	受付時間
技術サポート	設定、故障、修理受付	03-5615-5811 eSupport（Web）	午前 9 時～午後 6 時（土日祝、お盆、年末年始を除く）
営業	構成の相談、増設、見積	03-5615-5810 お問い合わせフォーム	午前 9 時～午後 6 時（土日祝、お盆、年末年始を除く）

eSupport：https://eservice.aten.com/eServiceCx/Common/FAQ/list.do?lang=ja_JP

お問い合わせフォーム：https://atenjapan.satori.site/contactus